

利用規則

当ホテルでは、宿泊約款第 10 条に基づき、当ホテルの品位を保ち、またお客様が当ホテルに滞在中に快適かつ安全にお過ごしいただくことを目的とした利用規則を下記の通り定めておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

万一この規則に対してご協力いただけなかった場合は、宿泊約款第 7 条により、客室及び当ホテル内の諸設備のご利用をお断り申し上げます。また、お客様のご協力が得られなかった結果生じた事故については、責任をお取りいただくこともございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

禁止事項

- 館内および客室内では暖房用、炊事用等の火器等の持ち込みや使用はご遠慮ください。
- ホテル内に以下の物はお持ち込みにならないでください。
 - ・犬、猫、小鳥など動物、その他ペット類全般（ただし盲導犬、介助犬などを除く）
 - ・悪臭、異臭の発生する物
 - ・著しく多数量な物品
 - ・火薬、揮発油等発火または引火しやすい物
 - ・所持を許可されていない鉄砲、刀剣類
 - ・その他、他のお客様の安全性を脅かす物や法令で所持を禁じられている物
- ホテル内で他のお客様にご迷惑を及ぼすような高声、放歌、または喧騒な行為はおやめください。
- 睡眠薬その他の薬物の使用により、他のお客様あるいはホテルに迷惑をかける行為はおやめください。
- 心身衰弱、薬品等による自己喪失などにより、ご自身の安全確保が困難である時、他のお客様に危険、恐怖感を及ぼす恐れがあると認められた時は、ご利用をお断りいたします。
- ホテル内で賭博、または風紀を乱すような行為はおやめください。
- ホテル内の諸設備・物品を当ホテルの許可なく他の場所へ移動させる等、現状を変更する行為はおやめください。
- 館内および客室を当ホテルの許可なしに宿泊・飲食以外の目的で使用しないでください。
- 廊下やロビーなどのパブリックスペースに所持品を放置しないでください。荷物を預ける場合は、所定の荷物保管スペースをご利用ください。荷物の紛失・盗難・破損には、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ホテル内の営業施設以外の場所に許可なく立入らないでください。
- 当ホテルの許可なしにご宿泊者以外の方のホテル内、客室階への立ち入りはご遠慮ください。外部からの出前等はホテルの敷地外でお受け取り下さい。
- 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求、面会の強要およびこれに類する行為が認められる場合、直ちに当ホテルの利用をお断りいたします。また、かつて同様の行為をされた方についてもお断りいたします。
- 館内は全室禁煙です。客室内及びテラスでの電子タバコ等を含む喫煙・室内での吸殻等のお持ち込みもお断りします。お守りいただけない場合は、正規宿泊料金相当の違約金、及びホテルに生じた損害相当額を請求させていただきます。また、今後、当ホテルを含め、グループホテルでの宿泊を全てお断りさせていただきます。予めご了承ください。喫煙は当ホテルが定める喫煙所をご利用ください。
- ホテル内で当ホテルの許可なしに、広告物の配布、掲示または物品の販売等をご遠慮ください。
- ホテルの外観を損なうような物を窓に掛けたり、窓側に陳列したりしないでください。
- お買い物代、切符代、タクシー代、送料等のお立替はお断りさせていただきます。
- ご訪問者との客室での面会をご遠慮ください。面会は施設外でお願いします。ロビー等で面会をご希望の場合は事前にホテルへご連絡ください。
- 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りいたします。
- ランプシェードや冷暖房設備にタオルやハンガーを掛けないでください。
- ホテル内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公になさることは法的処置の対象となることがありますのでご注意ください。
- 備え付け、または貸出品のナイトウェア、客室スリッパでの外出はご遠慮ください。

その他の諸注意

- お忘れ物、遺失物の処理は宿泊約款第 16 条に基づいてお取り扱いさせていただきます。
- ご予定の宿泊日数を変更なさる場合は、予めフロント係員またはコールセンターへご連絡ください。
- ご予定の宿泊日数を変更なさる場合は、予めフロント係員またはコールセンターへご連絡ください。チェックアウト時間の延長を希望される場合は、お申し出の際またはホテルが定める時間までにフロントにてお支払いをお願い申し上げます。
- ご滞在中、フロントから宿泊料金の請求がございましたら、その都度お支払いください。
- 料金のお支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクーポン券、もしくはクレジットカード、コード決済等により、フロントにてお支払いください。小切手でのお支払いには応じかねますのでご了承ください。
- 万一に備え、客室ドア内側に提示している「避難経路図」及び各階の非常口をご確認ください。
- 他のお客様に不快感を与えるような行為、迷惑をおかけするような疾病、感染症をお持ちの方のホテル利用はお断りさせて頂く場合があります。
- 不可抗力以外の事由により建造物、家具、備品、その他の物品を損傷、紛失、汚損した場合には、相当額を弁償して頂く場合があります。
- 客室内の紛失・盗難につきましては、当ホテルは一切の責任を負いかねます。
- 現金、その他貴重品等の保管につきましては、必ずご自身にて管理をお願い致します。客室に金庫の設置がある場合は、必ず金庫をご利用ください。
- 客館内設置の通信設備利用時に障害が生じた場合でも、ホテル側は責任を負いかねます。

House Regulations

■ In order to maintain the quality of our Hotel and to ensure a pleasant and safe stay to our guests, our Hotel has established the following house regulations in accordance to Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation.

We kindly ask for your cooperation.

In case these regulations are not observed, based on article 7 of the Terms and Conditions for Accommodation, we may refuse usage of the facilities in the Hotel.

In addition, kindly note that the guest may be held liable for any accidents that may have occurred due to non-observance of the house rules.

Prohibited matter

- Please refrain from bringing inside the hotel and the guest room heating or cooking devices.
- Please do not bring the following items inside the room:
 - Animals such as dogs, cats, small birds or any other pet (excluding guide dogs, service dogs etc.)
 - Items that may emit bad odors;
 - Significantly large amount of items;
 - Explosives, volatile oil, etc. that are easily ignited;
 - Guns and swords with no allowed possession;
 - Other items that may threaten the safety of other customers or items that are prohibited by law.
- Please refrain from making noises such as loud voice, loud singing or screaming that may cause inconvenience to other guests.
- Please refrain from using sleeping pills or other drugs that may cause inconvenience to other guests or the Hotel.
- We may refuse the use of the facility if it is recognized that self-loss related to mental health weakness or drugs may make it difficult to ensure your own safety or may be a danger for other guests.
- Please refrain from gambling or disturbing morals inside the Hotel.
- Please refrain from moving or changing the state of equipment or other items inside the Hotel without permission.
- Please do not use the facility or the guest room for other purposes other than for accommodation and for eating and drinking.
- Please do not leave your belongings in the hallway, lobby or public area unattended. In case of luggage keeping, please use the designated area. Please note that we do not take any responsibility for any loss, theft or damage of item.
- Please do not enter areas other than the business facilities inside the Hotel.
- Non-staying guests that do not have permission from the Hotel shall refrain from entering the guest floors. Deliveries from outside shall be accepted in the premises of the Hotel.
- We may immediately refuse the use of the facility in case of violence, threatening, blackmailing, intimidating requests, forced visit or any other similar acts. The same applies to the guest's companion.
- Smoking is prohibited inside the facility. We do not accept any smoking including e-cigarettes inside the guest rooms or terrace. In case of non-observance of this rule, we will charge a penalty equivalent to the basic room rate and an amount equivalent to the damage caused to the hotel. In addition, please note that we will refuse your use of our Hotel and our other facilities thereafter. In case of smoking, please use the designated smoking area.
- Please refrain from handing out advertisements, posting notices or selling items inside the Hotel.
- Do not hang anything on the window or display it on the side of the window that could damage the appearance of the hotel.
- We do not accept advance payments for shopping, tickets, taxis, deliveries, etc.
- Please refrain from having outside visitors inside the room. Any visits shall be made outside of the facility. In case of use of the lobby area, please contact the Hotel beforehand.
- We refuse underage guests' staying with no permission from the parents or guardian.
- Please do not hang towels or hangers on the lamp shades or cooling and heating equipment.
- Please note that photos taken for business purposes inside the hotel without permission may be subject to legal action.
- Please refrain from going outside with the provided nightwear or room slippers.

Other Notes

- Lost and found items are to be handled as per the provisions in Article 16 of the Terms & Conditions for Accommodation.
- In case of changes in the number of night stays, please contact in advance the front desk or the call center. For extension of check out time, please make the payment at the time designated by the Hotel.
- Please make any payment required by the Front desk during your stay.
- Payment shall be made to the Front desk through Japanese currency or any other method accepted by the Hotel such as coupons, credit card or QR code payment. Please note that we do not accept check payment.
- Please check the emergency evacuation plans displayed on the guest room's door and by the emergency exit.
- We may refuse the use of the Hotel in case of actions, illness or infectious disease that may cause discomfort to other guests.
- If an infrastructure, furniture, equipment, or other item is damaged, lost, or soiled due to unavoidable reasons, a considerable amount of compensation may be required.
- We do not take any responsibility for any loss or theft of item.
- Please manage the storage of cash and any other valuable item on your own. If there is a safety box inside the guest room, please make sure to use it.
- The Hotel does not take any responsibility for any damage caused by the use of the telecommunication equipment inside the facility.

宿泊約款

適用範囲

第 1 条

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとしします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

宿泊契約の申込み

第 2 条

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者氏名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金
(原則として別表第 1 の基本宿泊料金による。)
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第 3 条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとしします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 17 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

第 4 条

1. 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

第 5 条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者又はその同伴者及び予約者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力であることが判明したとき。

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。

- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者に罹患しているとき、或いは伝染病に罹患していると明らかに認められるとき。

- (7) 宿泊に関し暴力的及び恫喝的な言動で要求行為が行われたとき、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき

- (9) 旅館業法第五条及び第六条、旅館業法施工規則第四条の二、京都府旅館業の適切な実施の確保等に関する条例第 7 条、京都市旅館業法条例第 19 条の規定に該当するとき又は規定事項に反するとき。

- (10) その他、当ホテルの判断により宿泊不適當・不適格とみなしたとき。

宿泊客の契約解除権

第 6 条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 10 時（事前に到着予定時刻が明示されている場合、その時刻を 2 時間以上経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力であることが判明したとき。
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき。
 - 宿泊客が泥酔等により他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき。或いは宿泊客が他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊客が伝染病に罹患しているとき、或いは伝染病に罹患していると明らかに認められるとき。
 - 宿泊に関し暴力的な言動で要求行為が行われたとき、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 天災地変等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 第5条第1項(9)の規定に該当するとき。
 - 客室での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - 宿泊客が当ホテルの支払規定に応じられないとき。
 - その他当ホテルの判断により宿泊不適当・不適格とみなしたとき。

- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

第8条

- 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - 宿泊客の氏名、年令、性別、住所、電話番号及び職業
 - 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - 出発日
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。
- 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、パスポートの呈示、並びに複写等をさせていただきます。

客室の使用時間

第9条

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後4時から翌朝10時までとします。(施設により午後3時から翌朝11時を使用時間と定めるものが含まれており、利用時間に関しては各施設にて規定するものとする。)別途特定宿泊プランにより使用可能時間を定められている場合は、そちらが優先されます。
- 連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することが可能です。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合、各所の掲示、利用案内等に定める追加料金を申し受けます。但し、当日の状況により延長に応じられない場合もあります。

利用規則の遵守

第10条

- 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内等に掲示した利用規則に従っていただきます。

営業時間

第11条

- 当ホテルの施設の営業時間は、各所の掲示、利用案内等でご案内いたします。
 - 門限は設けていません。
 - フロントサービスおよびコールセンターサービスは24時間対応しております。
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合、適当な方法をもってお知らせいたします。

料金の支払い

第12条

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、あるいは当ホテルの指定した時期・方法でお支払いいただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

第13条

- 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときはその損害を賠償します。但し、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第14条

- 当ホテルは宿泊客に契約した客室を提供できないとき、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第 15 条

当ホテルはいかなる理由においても、宿泊客の現金、貴重品並びに有価証券、高額商品、壊れ物、電子機器等の預かりは行いません。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第 16 条

1. 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。但し、第 15 条に適用する物品は除きます。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、当ホテルは原則として所有者からの照会の連絡を待ち、その指示を求めます。所有者の指示がない場合又は所有者が判明しない場合は、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管について、当ホテルは一切の責任を負いません。

宿泊客の責任

第 17 条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

支配する国語

第 18 条

本約款は日本語と他言語で作成されますが、約款の両文の不一致または相違があるときは日本語文が全ての点について支配するものとします。

管轄及び準拠法

第 19 条

本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料（室料）
	追加料金	1. 追加飲食（朝・夕食・そのほかの飲食料）及び付帯施設の利用料金 2. その他利用施設の定めるサービス料等
	税金	消費税等法令、京都市条例により規定される諸税

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

違約金\契約解除の通知を受けた日	不泊	当日	前日	2 日前以前
違約金	100%	100%	100%	無料

注 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

注 2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分（初日）の違約金を収受します。

注 3. その他、当ホテルが企画する宿泊パッケージまたは、特定団体において、前述の規定とは異なる違約金を定めることがあります。

Terms and Conditions

Scope

Article 1

1. All accommodation contracts and related agreements made between our Hotel and the guest shall be in accordance with these Terms and Conditions for Accommodation Contracts. Any matters not stipulated herein shall be governed by laws, regulations or generally accepted practices.
2. In the case that the Hotel has entered into a special agreement with the guest to the extent that it does not violate laws, regulations or general practices, the special agreement shall take precedence over the provisions of this Terms and Conditions regardless of the provisions of the preceding paragraph.

Application for Accommodation Contracts

Article 2

1. When applying for an accommodation contract with the Hotel, you are required to provide the information below:
 - (1) Guest(s) name(s)
 - (2) Accommodation date and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation fee (based on the basic accommodation charge in the attached table)
 - (4) Other necessary information asked by us.
2. If the guest asks for an extension of stay beyond the date mentioned in item (2), the Hotel will regard such request as an application for a new accommodation contract.

Conclusion of Accommodation Contract

Article 3

1. The accommodation contract will be deemed as concluded after the Hotel has accepted your application as stipulated in the preceding article unless proved that the application was not accepted by the Hotel.
2. When the accommodation contract is concluded in accordance to the regulations in the preceding paragraph, the guest shall pay a deposit for the accommodation (based on the basic accommodation rate for the accommodation period) by the date designated by the Hotel.
3. The Deposit shall be firstly appropriated to the total cost of your accommodation, and if the provisions of Article 6 and/or Article 17 apply, the Deposit shall be appropriated in the order of penalty and then compensation; any remaining amount shall be paid at the time of payment of the accommodation charges as stipulated in Article 12.
4. If you fail to pay the Deposit by the date designated in Paragraph 2, your accommodation contract shall be deemed as invalid unless the Hotel has failed to notify the guest the designated payment date.

Special Agreements Not Requiring Deposits

Article 4

1. Regardless of the provision of Paragraph 2 in the preceding article, the Hotel may enter into a special agreement not requiring the payment of the Deposit after the conclusion of the accommodation contract.
2. When accepting an application for an accommodation contract where the Hotel has not requested the payment of the Deposit or have not designated the payment date of the Deposit, it shall be deemed that the Hotel has concluded the special agreement as stated in the preceding paragraph.

Denial of Accommodation Contract

Article 5

1. The Hotel may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases.
 - (1) If the application for an accommodation contract does not conform to the provisions of the Hotel's Terms and Conditions;
 - (2) If the hotel is fully booked and no rooms are available;
 - (3) If the guest possibly committed any act in violation of laws, regulations, public policy or good morals regarding the accommodation;
 - (4) If the guest or its companion fall under the following category:
 - i. If you are identified as a bouryokudan-in("bouryokudan-in" as defined under Article 2(vi) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) , hereinafter bouryokudan-in) or an associate member of a buoryokudan organized crime or an antisocial force ("bouryokudan" as defined under Article 2(ii) of the same act, hereinafter bouryokudan).
 - ii. If you are a corporation or any other association that controls business operations of a buoryokudan or bouryokudan-in.
 - iii. If a member in that corporation is identified as a bouryokudan-in.
 - (5) If it is determined that you possibly cause serious trouble to other guests or if your words or actions have caused a significant inconvenience to other guests;
 - (6) If you are clearly recognized as having an infectious disease;
 - (7) If your requests are deemed to be an unreasonable burden in regard to the accommodation;
 - (8) If accommodation cannot be provided due to a natural disaster, facility being out of order, or other unavoidable circumstances;
 - (9) If you fall under or go against the provisions of Article 5 and 6 of the Inns and Hotels Act, Article 4(ii) of the Inns and Hotels Enforcement Order, Article 7 of the Kyoto Prefecture Inns and Hotels Ordinance about enforcing proper implementation. Article 19 of Kyoto city Inns and Hotels Act Ordinance;
 - (10) Or other cases that the Hotel deems as an inappropriate stay.

Guest's right to cancel the contract

Article 6

1. You are entitled to cancel the accommodation contract you have made by notifying us.
2. When you cancel your accommodation contract in whole or in part due to reasons attributable to you, we may charge a penalty as specified in the Attached Table 2 (excluding case when the guest cancels the contract before the payment of the Deposit requested by the Hotel by designating a date as per the provisions of Article 3(2)).
However, if the Hotel complies with the special provisions in Article 4(1), in order to comply to its special provisions, the Hotel will have to inform the guest of the obligation to pay the penalty when the guest cancels the accommodation contract. However that is limited. However that applies only if the guest notifies the Hotel about the cancellation of the accommodation contract.
3. If you fail to arrive by 10 p.m. on your check-in day without giving notice (or 2 hours later than the expected arrival time) we may treat your accommodation contract as cancelled.

Hotel's right to cancel accommodation contract

Article 7

1. The Hotel may cancel the accommodation contract in the following cases.
 - (1) If it is determined that you possibly commit, or has committed, any act in violation of laws, regulations, public policy or good morals in regard to accommodation
 - (2) If the guest fall under the following category:
 - i. If you are identified as a bouyokudan-in or an associate member of a buoryokudan organized crime or an antisocial force.
 - ii. If you are a corporation or any other association that controls business operations of a buoryokudan or bouyokudan-in.
 - iii. If a member in that corporation is identified as a bouyokudan-in.
 - (3) If it is determined that you possibly cause serious trouble to other guests due to drunkenness, etc., or if your words or actions have caused a significant inconvenience to other guests;
 - (4) If you are clearly recognized as having an infectious disease;
 - (5) If your requests are deemed to be an unreasonable burden in regard to the accommodation;
 - (6) If accommodation cannot be provided due to a natural disaster or other unavoidable circumstances;
 - (7) In applicable to the provisions of Article 5 Paragraph 1 (9);
 - (8) If the guest does not observe prohibited rules such as smoking inside the guest room, mischief against firefighting equipment or other regulations provided by the Hotel
 - (9) If the guest does not comply with the payment rules of the Hotel.
 - (10) Or other cases that the Hotel deems as an inappropriate stay.
2. When the hotel cancels the accommodation contract based on the provisions of the preceding paragraph, the guest will not be charged for accommodation services that have not yet been provided.

Registration of stay

Article 8

1. The guest(s) is required to register the following information below on the day of your check in.
 - (1) Name, age, sex, address, phone number and occupation
 - (2) In case of non-Japanese nationality, nationality, passport number, place and date of entry in Japan
 - (3) Departure date
 - (4) Other information deemed as necessary by the hotel
2. If the guest intends to pay the accommodation charges stipulated in Article 12 by means of traveler's cheques, accommodation voucher, credit card instead of Japanese currency, please provide such payment by the time of the registration of the information in the preceding paragraph.
3. For foreign nationals who do not have an address in Japan, we will ask for your passport and a make a copy of it.

Occupancy hours of guest room

Article 9

1. The guest can make use of the guest room from 4 p.m. to 10 a.m. (next day).
(Depending on the facility, occupancy hours are set from 3 p.m. to 11 a.m. (next day). Regulated time are provided on each facility's usage guide). In case of specific accommodation plan with a set occupancy hour, those hours will be prioritized.
2. In case of consecutive stay, you can use the room all day except for the arrival and departure day.
3. Regardless of the provisions in the preceding paragraph, the hotel may accept usage of the room outside the hours mentioned in the same paragraph. In that case, an additional fee will apply as specified in the usage guide.
However, the Hotel may not accept the extension depending on the occupancy of the day.

Compliance with the usage rules

Article 10

1. Guests are required to comply with the usage rules established by the hotel and posted in the hotel.

Business hours

Article 11

1. Business hours of the hotel are posted on the usage guide and notices inside the facility.
 - (1) There is no closing time.
 - (2) Front desk or call center service are available 24 hours.
2. The business hours may be temporarily changed if necessary. In that case, guests will be properly notified.

Payment of accommodation charges

Article 12

1. Details of the accommodation charges to be paid are listed in the attached Table 1.
2. The accommodation charges stated in the preceding paragraph shall be paid at the front desk upon the guest's arrival or upon request of the Hotel by Japanese currency or instead by traveler's cheques, accommodation vouchers credit cards or any other method accepted by the Hotel.
3. Even if you voluntarily decide not to stay after the Hotel provided a guest room, the accommodation charges shall be paid.

Liabilities of the Hotel

Article 13

1. The Hotel is liable to compensate you for damages resulting from the performance or non-performance of the accommodation contract or any agreements related thereto within the scope of such damages unless these are not due to reasons attributable to us.
2. The Hotel has liability insurance in cases such as fire etc.

Handling In Case Contracted Rooms Cannot Be Provided

Article 14

1. When the Hotel is unable to provide with the contracted guest room, it shall arrange upon the guest's consent, another accommodation facility with the same conditions as much as possible.
2. Despite the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to arrange another accommodation facility, it shall pay the guest a compensation fee equivalent to the penalty, and the compensation fee shall be applied to the compensation for the damages, unless the inability to provide the room is not due to reasons attributable to the Hotel.

Handling of Deposited Goods

Article 15

1. The Hotel does not keep cash or any valuable goods such as valuable securities or highly priced products for whatever reason.

Custody of Your Baggage or Belongings

Article 16

1. If your baggage arrives at the Hotel prior to your arrival, the Hotel shall be responsible to keep the baggage only when we have accepted the arrival of baggage in advance, and shall hand such baggage to you when you check in at the front desk. Items listed in Article 15 are not accepted.
2. In case your baggage or belongings are left in the Hotel after you have checked out, the Hotel shall, in principle, wait for an inquiry from the owner for instructions. If no instruction is given by the owner or the owner cannot be identified, the Hotel shall keep the baggage or belongings for 7 days and then brought to the nearest police station.
3. In the case described in paragraph 2, the Hotel does not take any responsibility for the baggage or belongings being kept.

Guest's Liability

Article 17

1. The guest shall be liable to the Hotel for any damages incurred to the Hotel due to intentional or negligent act.

Language

Article 18

The Terms and Conditions are available in Japanese and English. However, shall there be any discrepancy between the two languages, the Japanese version shall have effect.

Jurisdiction and governing law

Article 19

Conflicts that generated out of this Agreement shall be settled according to the Japanese law in the Japanese court having jurisdiction over the location of the Hotel.

Attached Table 1 Accommodation charges details
(related to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Details
Total amount to be paid by guest	Accommodation charges	Basic accommodation fee (room charge)
	Additional fee	1. Additional food and beverage (breakfast/dinner and other food costs) and facility use charges. 2. Other service charges determined by the Hotel.
	Taxes	Consumption tax, accommodation tax, bathing tax, and other taxes stipulated by laws and regulations

Attached Table 2 Penalty (related to Paragraph 2 of Article 6)

Day of notice of Penalty fee/Contract cancellation	No show	Check-in day	1 day prior Check-in	2 days prior Check-in
Penalty fee	100%	100%	100%	Free of charge

Note 1. The percentage shown above is in the ratio of the penalty charge to the basic accommodation charge.

Note 2. If the contracted number of days is shortened, the penalty fee for one day (the first day) will be collected regardless of the number of days shortened.

Note 3. In addition, in case of accommodation packages planned by the hotel or a specific group the penalty fee may be different from the provisions above.